

整理番号 02270

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） Tube Indicating OMI-2
OMI-2 チューブ

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		
推奨用途	分析試験用			
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。			

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的有害性	水反応可燃性化学品 区分 1
健康に対する有害性	急性毒性(吸引：粉塵・ミスト) 区分 3 皮膚腐食性/刺激性 区分 1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1 生殖毒性 区分 1A 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分 1(呼吸器) 区分 2(神経系)

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

水に触れると自然発火するおそれのある可燃性又は引火性ガスを発生。吸引すると有害。重篤な皮膚の薬傷及び眼の

損傷。生殖能又は胎児へ悪影響のおそれ。呼吸器系の障害。
神経系の障害のおそれ。

注意書き

安全対策：使用前に使用説明書入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。激しい反応と火災の発生の危機があるため、水と接触させないこと。適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。適切な呼吸用保護具を着用すること。必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。粉じん、ヒュームを吸入しないこと。湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸し、湿った包帯で覆うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

応急処置：飲み込んだ場合口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。汚染した衣類は再使用する前に洗濯すること。吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外しその後も洗浄を続けること。皮膚に付着、眼に入った、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。

保管：乾燥した場所又は密閉容器に保管すること。施錠して保管すること。容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

廃棄：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: 水素化リチウム
化学式又は構造式	: LiH
成分及び含有量	: 1-5%
CAS No.	: 7580-67-8
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: 1-710
労働安全衛生法	: 通知・表示対象物

PRTR法 : 対象外
国連分類及び国連番号 1414 等級 4.3
・その他の成分については製造元 SDS に記載無し

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸停止の場合は人口呼吸を行うこと。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。医師の診断を受ける。
眼に入った場合	多量の水で最低 15 分間洗浄する。搬送中も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	意識の無い場合やけいれんを起こしている場合は、口から物を与えない事。口をすすぐ。医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状	SDS11 項参照
応急措置及び特別注意事項	入手不可

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、砂
使ってはならない消火剤	水、泡消化剤
化学物質から発生する特定危険物	酸化リチウム
特有の危険有害性	熱、火花、火災で発火するおそれがある。 消火後は再び発火するおそれがある。
特有の消化方法	消火活動は有効に行えるもっとも遠い距離から無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消化する。容器内に水を入れてはならない。
消火を行う者の保護	適切な呼吸器、保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	保護具を着用する。ダストの発生を防ぐ。蒸気、ミストガス、ダストの吸引を避ける。十分換気する。関係者を安全な区域に退避させる。保護具は 8 項を参照。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	箒で掃き集める又は掃除機で吸い集め、廃棄容器に入れる。水で洗い流さない。適切な廃棄容器に封入したままにする。
環境に対する注意事項	安全に実施可能な場合はさらなる漏出を止める。製品を河川等に混入させない

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	眼や皮膚への接触を防ぐ。ダストやエアゾールの発生を避ける。製品の加工を行うと可燃性ダストが発生するおそれがあり、もし加工を行う場合はこのことを良く考えなければならない。適切に換気する。引火源から遠ざける。喫煙
----------	--

安全な保管条件及び混触危険物質 しない。SDS2項参照
製品の入っている容器のまま密閉し、乾燥した、換気の良い場所で保管する。激しく反応する為、水と接触させない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値）

US. OSHA（労働安全衛生法）表 Z-1 空気汚染許容濃度（29 CFR 1910-1000）

成分	タイプ	値	形状
水素化リチウム CAS：7580-67-8	TWA	0.025000 mg / m ³	全微粒子

US. ACGIH（産業衛生専門家会議）ばく露限界値

成分	タイプ	値	形状
水素化リチウム CAS：7580-67-8	TWA	0.025000 mg / m ³	吸入区分

US. NIOSH（国立労働安全衛生研究所）推奨暴露限界値

成分	タイプ	値	形状
水素化リチウム CAS：7580-67-8	TWA	0.025000 mg / m ³	吸入区分

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付きメガネ（又はゴーグル）を着用する。
皮膚の保護	
手	適した保護手袋を着用する。製品が皮膚に付着しないようにする。使用後の手袋は適切に廃棄する。
その他	危険状況や濃度に応じ、不浸透性、耐火性等の適した保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダスト/フュームがばく露限界以上の場合は、NIOSH/MSHA 認可の保護マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	固体 ビーズ状
色	黒色
臭い	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可

可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	アルカリ性（水溶液状態）
動粘性率	入手不可
溶解度	水と接触すると分解する
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	水と接触すると可燃性ガスを発する
化学的安定度	推奨の保管状態で安定
危険有害反応可能性	水と激しく反応する
避けるべき条件	湿潤な環境。混触危険物との接触。
混触危険物質	水、酸素、アルコール、強酸化剤、酸
有害な分解生成物	二酸化炭素 リチウム酸化物

11. 有害性情報

起こりうるばく露に関する情報	
飲み込んだ場合	
吸入	入手不可
皮膚	入手不可
眼	入手不可
物理的・化学的・有害性特性に関連した症状	入手不可
毒物学的影響に基づいた情報	
急性毒性	吸引すると有害。
皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	重篤な眼の損傷
呼吸器又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可

発がん性	IARC, ACGHI, NTP, OSHA によって規定されている 発がん性又はそのおそれのある物質は本製品の0.1%以上の濃度で含有していない
生殖毒性	生殖能又は胎児へ悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	呼吸器系の障害。神経系の障害のおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし
その他情報	咳、息切れ、頭痛、吐き気、嘔吐のおそれ

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性/分解性	データなし
生体内蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
汚染容器	未使用品として廃棄する。

14. 輸送上の注意

DOT

UN 番号	UN1414
UN 正式品名	水素化リチウム
分類	
等級	4.3
副次危険性等級	-
ラベル	4.3
容器等級	I
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IATA

UN 番号	UN1414
UN 正式品名	水素化リチウム
分類	

OMI-2 チューブ P/N:783-785-HAZ 783-785-110-HAZ 783-786-HAZ

等級 4.3
副次危険性等級 -
容器等級 I
ERG コード 4W
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IMDG

UN 番号 UN1414
UN 正式品名 水素化リチウム
分類
等級 4.3
副次危険性等級 -
容器等級 I
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

DOT



15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知・表示すべき有害物

規則第 594 条の 2 皮膚等障害化学物質等

消防法：第 3 類自然発火性物質及び禁水性物質、金属の水素化物

船舶安全法：可燃性物質類・水反応可燃性物質

航空法：可燃性物質類・水反応可燃性物質

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS (080817) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場の安全サイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成 平成 24 年 2 月 15 日
改訂 平成 29 年 2 月 3 日（書式、法令見直し）
令和 4 年 3 月 16 日（法令見直し、2019 年版 JIS 対応）
令和 6 年 6 月 21 日（法令見直し）

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。